

研究課題名： 一般社団法人日本脳神経外科学会データベース研究事業

所属(診療科等)： 公立昭和病院 脳神経外科

研究責任者(職名)： 堤 一生 (部長)

研究期間： 2018年11月30日～2023年9月30日

研究目的と意義： 近年、高齢化の進展と医療費の増加に伴い、世界的に医療の質や適切な医療へのアクセスに対する関心は高まりつつある。本研究は、一般社団法人日本脳神経外科学会（以下、本学会）会員が所属する、日本全国の脳神経外科施設における手術を含む医療情報を登録し、集計・分析することで医療の質の向上に役立て、患者さんに最善の医療を提供することを目指すことを目的とする。基盤データベースでは、悉皆性の高い簡素な診療情報を収集し、より高層階では、臨床研究、医療機器開発、治験、市販後調査などの個別の目的に応じたデータベースを構築する予定である（図1）が、本研究申請では、基盤データベースに基づく登録研究事業を対象とする。

収集したデータを分析することで、日本の脳神経外科領域における以下について明らかにする。

- 手術を含む脳神経外科医療を行っている施設の特徴
- 医療水準の評価
- 手術・治療を受けた方の予後
- これから手術を受ける方の死亡・合併症の危険性の予測など
- 専門医の更新要件到達度
- 専攻医の研修目標到達度
- 脳神経外科専門医制度のあり方に関する基礎資料
- 医療機器や薬剤などの市場調査
- 臨床研究、治験などを計画する際の基礎資料

これにより、日本の脳神経外科医療の実態を可視化し、明らかとなった課題に対して実データに基づく改善策の検討や、施設、地域や全国単位での医療の水準を明らかにし、比較することなどが可能となる。

また、分析結果から、より正確に手術や治療にともなうリスクが明らかとなり、担当医は患者さんやご家族とともに、治療に伴うリスクとベネフィットを共有した上で、治療方針を決定することができる。全国の脳神経外科医療の実態を俯瞰した視点で検証することで、より良い脳神経外科専門医制度のあり方を検証するための基礎資料ともなる。

今後、基盤データベースを発展させ、さまざまな研究と連携して運営することで、臨床現場がさらに充実した脳神経外科医療を提供していくために役立つものとなる。

研究内容： ●対象となる患者さん  
当院脳神経外科にて当院入院または通院中の患者を対象とする。

- 利用するカルテ情報  
診断名、身体所見、 検査結果、診療についての記録等

●研究方法

当院に入院または通院中の脳神経外科患者の受診時のデータについて後ろ向きに検討を行う。

●利用する研究機関の範囲

公立昭和病院

問い合わせ先：

【研究担当者】

氏名：吉河 学史（脳神経外科医師）

住所：小平市花小金井8丁目1番1号

電話：042（461）0052（代表） FAX：042（464）7912

【ご意見・相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

総務課 042（461）0052 内線 2247

受付時間：月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）